

エコアクション 21

# 環境経営レポート

2024年度版

(環境活動期間:2024年4月 ~ 2025年3月)

作成日:2025年 6月 1日



株式会社 大北リサイクル

# 環境経営方針

## ＜基本理念＞

当社は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって継続的に、環境保全活動に取り組みます。

また、この活動に取り組む事により、宇治茶の郷である我が街和東町の、後世に残すべき美しい茶畑風景を守ってまいります。



## ＜環境保全への行動指針＞

1.具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②自動車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ③廃棄物排出量の削減
- ④水資源の節水
- ⑤地域及び行政機関との連携による社会貢献

これらについて環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2.環境関連法規制や当社が約束した事を順守します。



制定日：2010年12月1日  
改定日：2020年6月14日

代表取締役社長

金沢 寛治

## ○組織の概要

### (1) 名称及び代表者名

株式会社 大北リサイクル

代表取締役社長 金沢 寛治

### (2) 所在地

本 社

〒619-1212 京都府相楽郡和束町釜塚前田21番地

TEL:0774-78-3839 FAX:0774-78-3304

大北リサイクルセンター

〒619-1222 京都府相楽郡和束町白栖大狭間26番地5

TEL:0774-78-5005 FAX:0774-78-5005

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者

部長 飯田 修司

TEL: 0774-78-4153

### (4) 事業内容

一般廃棄物の収集運搬及び処分業(中間処理)

産業廃棄物の収集運搬事業

### (5) 事業の規模

法人設立年月日

2003年 6月 12日

資本金

1000万円

売上高

1億1000万円

	本 社	大北リサイクル センター	合 計
従業員数 (名)	4	10	14
延べ床面積 (㎡)	182.92	19998.66	20181.58

## 処理実績

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
一般廃棄物収集運搬量(t)	2889.2	2032.1	2049.1	1991.9	1913.5	1796.5	1715.7
産業廃棄物収集運搬量(t)	10.7	2.4	11.2	9.5	2.8	1.4	3.9
収集運搬量合計(t)	2899.9	2034.5	2060.3	2001.4	1916.3	1797.9	1719.6
中間処理量合計(t)	243.2	236.0	233.9	220.9	210.0	197.4	184.3
うち、再資源化量合計(t)	157.0	149.3	145.2	140.4	139.8	130.1	124.8

## 車両台数

## 本 社

車 種	台 数	備 考
軽自動車	1 台	使用燃料 ガソリン:1台
合 計	1 台	

## 大北リサイクルセンター

車 種	台 数	備 考
2tパッカー車	6 台	使用燃料 軽油:6台
2tダンプ車	4 台	使用燃料 軽油:4台
3tコンテナ車	2 台	使用燃料 軽油:2台
軽自動車	2 台	使用燃料 ガソリン:2台
バックホー	1 台	使用燃料 軽油:1台
タイヤショベル	1 台	使用燃料 軽油:1台
フォークリフト	2 台	使用燃料 軽油:1台 ガソリン:1台
合 計	18 台	

## 主要設備

## 大北リサイクルセンター

名 称	台 数	能 力	備 考
計量器	1 基	最大秤量40t	2020年11月更新
破袋機	1 機	200kg/h	
プラスチック圧縮機	2 機	80kg/h	
ペットボトル圧縮機	1 機	100kg/h	
空き缶圧縮機	1 機	260kg/h	
空き缶選別機	1 機	1000kg/h	
合 計	7 台		

## (6) 事業年度

6月 ~ 翌年5月

## ○認証・登録の対象組織・活動

登録組織名

株式会社 大北リサイクル

関連事業所

本社

大北リサイクルセンター

活動内容

一般廃棄物の収集運搬及び処分業(中間処理)

(公共事業の指示に基づく業務であるため、中間処理における環境目標設定は該当しません。)

産業廃棄物の収集運搬業

## ○産業廃棄物の収集運搬料金

収集場所、地域条件、品目等により異なります。詳しくは電話等でお問い合わせ下さい。

《お問合せ先》

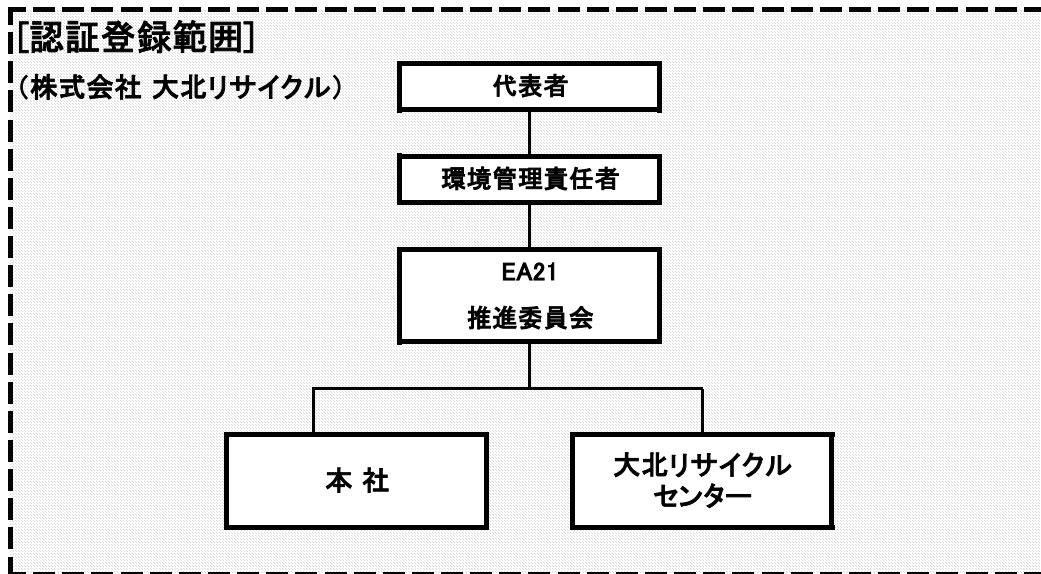
京都府相楽郡和束町釜塚前田21番地

株式会社 大北リサイクル TEL:0774-78-3839 FAX:0774-78-3305

## ○許可・登録の内容

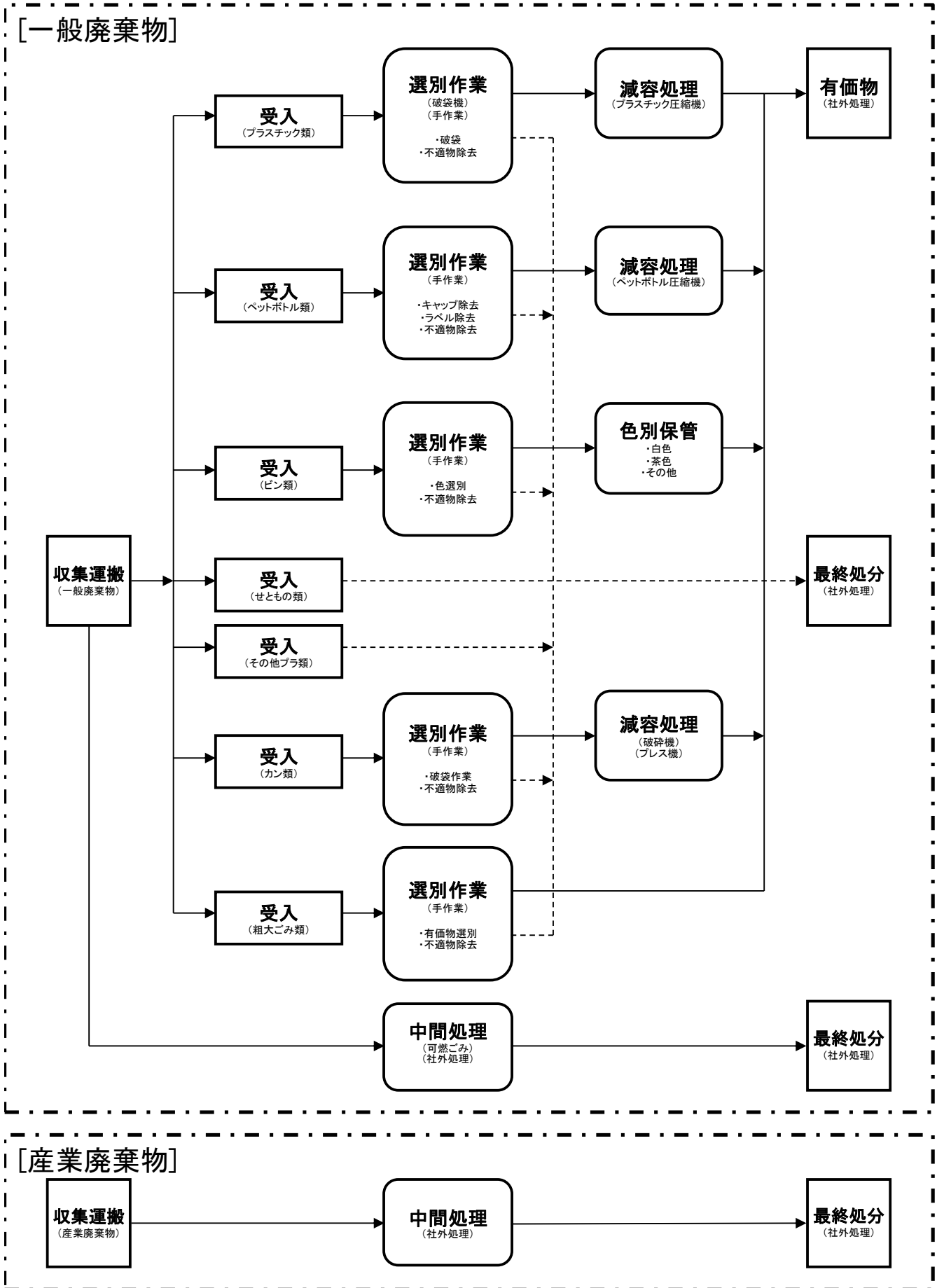
区分	種類	行政区	品目 (産業廃棄物の種類)								許可番号	許可の年月日 及び 許可の有効期限
			廃 プラ 類	金 属 く ず	ガ ラ ス 陶 磁 器 く ず	紙 く ず	木 く ず	繊 維 く ず	ゴ ム く ず	が れ き 類		
許可	一般廃棄物処理業	和束町	—								和積替許第1号	令和7年4月1日 令和9年3月31日
許可	一般廃棄物処理業	笠置町	—								第1号	令和6年4月1日 令和8年3月31日
許可	一般廃棄物処理業	南山城村	—								第2号	令和7年5月8日 令和9年5月9日
許可	産業廃棄物収運業	京都府	●	●	●	●	●	●	●	●	第02600134612号	令和4年3月27日 令和9年3月28日
許可	産業廃棄物収運業	三重県	●	●	●	●	●	●	●	●	第2400134612号	令和4年8月7日 令和9年8月8日
許可	産業廃棄物収運業	滋賀県	●	●	●	●	●	●	●	●	第2501134612号	令和4年7月30日 令和9年7月31日
許可	産業廃棄物収運業	奈良県	●	●	●	●	●	●	●	●	第02900134612号	令和4年3月27日 令和9年3月28日

## ○認証・登録の範囲



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を作成</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境目標、環境経営計画書の作成</li> <li>・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・EA21推進委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営活動の実績集計</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成及びテスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加</li> </ul>

○廃棄物処理フロー



## ○主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量 (※1)	kg-CO2 /年	79,711	75,272	77,402	76,080	74,100
一般廃棄物排出量	kg/年	101	94	111	103	105
水使用量	m <sup>3</sup> /年	709	351	262	325	205
物質使用量 (コピー用紙の使用量)	kg/年	34	34	44	48	34

※1: 電力の二酸化炭素の排出係数・・・0.476kg-CO2/kWh (idemitsuでんき2022年度調整後排出係数)

## ○環境経営目標及びその実績

## ※電力の二酸化炭素排出量削減

項目			年度	2022年度	2024年度		2025年度	2026年度	2027年度
				(基準年度)	(目標) (基準年度比)	(実績) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)
電力の 二酸化炭素 排出量削減	本社	kg-CO2 /年	2,123	2,081 98%	2,381 112%	2,059 97%	2,038 96%	2,017 95%	
	大北リサイクル センター	kg-CO2 /年	4,789	4,693 98%	6,024 126%	4,645 97%	4,597 96%	4,550 95%	
合計			6,912	6,774 98%	8,405 122%	6,705 97%	6,636 96%	6,566 95%	

## ※燃料の二酸化炭素排出量削減

項目			年度	2022年度	2024年度		2025年度	2026年度	2027年度
				(基準年度)	(目標) (基準年度比)	(実績) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)
燃料の 二酸化炭素 排出量削減	本社	kg-CO2 /年	1,099	1,077 98%	919 84%	1,066 97%	1,055 96%	1,044 95%	
	大北リサイクル センター	kg-CO2 /年	69,392	68,004 98%	64,776 93%	67,310 97%	66,616 96%	65,922 95%	
合計			70,491	69,081 98%	65,695 93%	68,376 97%	67,671 96%	66,966 95%	

## ○環境経営目標及びその実績

## ※一般廃棄物の削減

項目			年度	2022年度	2024年度		2025年度	2026年度	2027年度
				(基準年度)	(目標) (基準年度比)	(実績) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)
一般廃棄物の削減	本社	kg/年	51	50 98%	59 116%	50 97%	49 96%	49 95%	
	大北リサイクルセンター	kg/年	60	59 98%	46 77%	58 97%	58 96%	57 95%	
合計		kg/年	111	109 98%	105 95%	108 97%	107 96%	106 95%	

## ※水使用量の削減

項目			年度	2022年度	2024年度		2025年度	2026年度	2027年度
				(基準年度)	(目標) (基準年度比)	(実績) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)
水使用量の削減	本社	m <sup>3</sup> /年	36	35 98%	39 108%	35 97%	35 96%	34 95%	
	大北リサイクルセンター	m <sup>3</sup> /年	226	221 98%	166 73%	219 97%	217 96%	215 95%	
合計		m <sup>3</sup> /年	262	257 98%	205 78%	254 97%	252 96%	249 95%	

## ○環境経営活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

具体的な取り組み	達成状況	評価（結果と今後の方向）
<b>(1) 電力の削減</b>	<b>未達成</b>	
空調の適温化(冷房28℃程度、暖房20℃程度)	○	目標を達成することが出来ませんでした。 照明のLED化、こまめな消灯など、節電への取り組みは従業員に浸透している。 エアコン使用による従業員の体調管理をする場合は、メリハリのある休憩の取得をする。 リサイクルセンターの作業環境改善による、「作業時間証明点灯」による電力消費量増加はあるが、こまめな消灯による節電に努める。
空調機器のフィルター清掃	◎	
事務室や作業場における不必要な照明の消灯	◎	
節電啓発シールの貼り付け	◎	
休憩室への断熱加工	○	
省エネ家電への順次更新	○	
<b>(2) 燃料の削減</b>	<b>達成</b>	
効率的な車両の運転管理(車両)	○	目標を達成することが出来ました。 車両においては、アイドリングストップ等のエコドライブも浸透してきており、省エネ運転ができています。 走行距離が増加すれば燃料消費も増加するので、今後も収集ルートの効率化や帰り荷の活用、収集時2名乗車による車両運転計画の厳密化を徹底し、燃料の消費量を削減する。 これからも目標達成できるように活動を継続させていく。
アイドリングストップ運転(車両)	◎	
急加速・急停車の防止(車両)	○	
暖機運転時間の短縮(車両)(重機等)	◎	
低燃費車への順次更新(車両)(重機等)	◎	
省エネ暖房器具への順次更新(重機等)	○	
作業時エンジン回転数の抑制(重機等)	○	
<b>(3) 一般廃棄物の削減</b>	<b>達成</b>	
分別の徹底	○	目標を達成することが出来ました。 裏紙の再利用が日常化しており、コピー用紙の購入及び廃棄が少なくなった。 新聞紙の古紙回収により大幅に排出量の削減が達成できた。 今後も継続して活動していく。
印刷物への両面印刷の実施	◎	
エコ商品への順次変更	○	
<b>(4) 水使用量の削減</b>	<b>達成</b>	
トイレタンクにペットボトルを入れる	○	目標を達成することが出来ました。 増加していた洗車時の上水道使用量を、雨水ポンプを設置し置換したことによる節水効果が表れた。 今後も雨水ポンプを活用し、目標達成できるよう、節水活動を継続していく。
節水啓発シールの貼り付け	○	
雨水タンクの利用	◎	
節水器具への更新	◎	
<b>(5) 社会貢献等</b>	<b>達成</b>	
教育委員会主催の河原清掃活動への参加(随時)	◎	高齢者見守り活動など、継続してボランティア活動に参加することが出来ている。 今後も社会貢献が出来るよう、会社としての信頼は当然の事、社員一人一人のレベルの向上を目指していく。
会社周辺地域の清掃活動	○	
高齢者見守り活動の実施	◎	
小学生の社会見学での施設使用	○	

※ 化学物質は、使用していません。

(1) 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
容器包装リサイクル法	事務所や作業場から排出される一般廃棄物
家電リサイクル法	冷蔵庫、洗濯機、テレビ、エアコン
資源有効利用促進法	デスクトップ・ノートパソコン、液晶・CRTモニター
自動車リサイクル法	営業用乗用車、ダンプトラック、パッカー車
悪臭防止法	施設、収集車両
消防法	施設、危険物取扱者
労働基準法	労働基準法の遵守
労働安全衛生法	健康診断等
道路運送車両法	収集運搬業務、通勤等
道路法	収集運搬業務、通勤等
道路交通法	収集運搬業務、通勤等
Nox,PM法	ダンプトラック、パッカー車
計量法	トラックスケール
騒音規制法	ダンプトラック、パッカー車
水質汚濁防止法	生活排水
フロン排出抑制法	重機、スポットクーラー
オフロード法	重機からの排気ガス
京都府環境を守り育てる条例	緑化の努力

(2) 違反・訴訟等

環境関連法規等への遵守状況の評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反、訴訟等の指摘につきましても、過去5年間ございません。

## ○代表者による全体の評価と見直し・指示

### ※全体の評価

評価実施日：2025年6月1日

項目	評価の内容
電力の削減	電力の使用量については、目標を達成することが出来ませんでした。リサイクルセンターの照明利用時間増加が原因と特定できているので、基準年度の変更等を実施する。
燃料の削減	燃料使用量の削減については、目標を達成する事が出来ました。収集時2名乗車が義務付けられたことによる、車両運営計画の緻密化をこのまま継続し、目標達成を継続していく。
一般廃棄物の削減	一般廃棄物の削減については、目標を達成する事が出来ました。これからも両面印刷や裏紙の使用を推進し、廃棄物の分別を徹底しリサイクルへの取り組みを行い、廃棄物の削減を継続していきます。
水使用量の削減	水道水の削減については、目標を達成する事が出来ました。洗車時の雨水利用を積極的に実施し、これからも節水していきます。
社会貢献等	高齢者見守り隊活動も順調に推移しており、これからも安心して任せてもらえるような会社作りや社員教育を行なっていきます。

### ※見直し・指示

対象	変更の有無	見直しの内容・指示
環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり	特になし。
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	基準年度の見直し。(作業環境変更のため)
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり	特になし。

## ○環境経営活動や社会貢献活動等の紹介

### ○高齢者見守り隊事業への参加

2009年より、ごみ収集を通じて、京都府社会福祉協議会様の「高齢者見守り隊事業」に協力しています。



### ○環境に配慮した機器の使用

事務所内、リサイクルセンターの照明を、消費電力の少ないLED照明に更新。CO2の削減に貢献しています。

### ○小学校の社会科見学に協力

小学生の社会科見学に協力しています。施設見学では、ゴミの分別やリサイクルについて、分かりやすく説明しています。



### ○雨水の活用による節水の実施

容量7,000リットルの雨水タンクを設置し、車両や重機の洗浄水として利用しています。

### ○本社での太陽光発電システム

太陽光発電システムを設置し、事務所で使用する電力を発電しています。令和5年度に発電した電力量は1961kWh。火力発電所で消費される石油に換算して年間で465リットル(4.22kWh/リットル)が節約できることとなります。これは二酸化炭素排出量で年間0.933t-CO2(係数0.476)の量に相当します。



○次回の環境経営レポートの発行予定は、令和8年 8月下旬頃です。